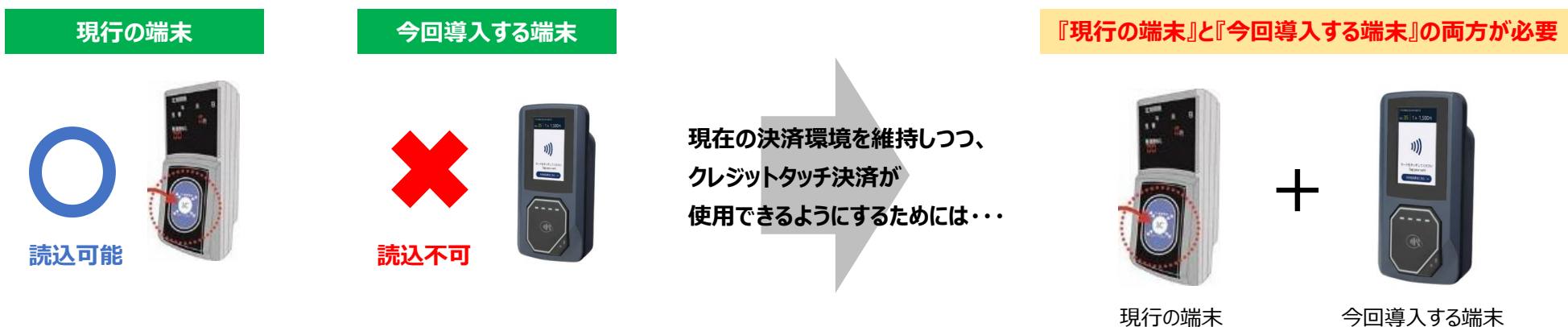


## ■全国交通系ICカード（以下、10カード）を読み込める端末について



## ■決済環境と更新費用

	① 現行の利用環境を更新 (くまモンIC+10カード)		② 交通事業者が決定した内容 (くまモンIC+クレジットタッチ)		③ 現行の利用環境に追加でクレジットタッチを導入 (くまモンIC+クレジットタッチ+10カード)	
	端末	決済手段	端末	決済手段	端末	決済手段
内容	 現行の端末	 くま蒙のICカード 10カード	 今回導入する端末	 くま蒙のICカード クレジットカード等のタッチ決済	 現行の端末 + 今回導入する端末	 くま蒙のICカード 10カード クレジットカード等のタッチ決済
更新費用	<b>12.1 億円</b> (端末10.1億円+サーバ2.0億円)		<b>6.7 億円</b> ※1 (端末4.4億円+サーバ2.3億円)		<b>18.8 億円</b> ※2 (端末14.5億円+サーバ4.3億円)	
費用負担	事業者12.1億円		事業者2.25億円(1/3)、国2.25億円(1/3) 県1.1億円(1/6)、市1.1億円(1/6)		事業者14.35億円(12.1億円+2.25億円) ②の補助分 ⇒ 国2.25億円、県1.1億円、市1.1億円	

※1 『マルチ端末』を設置した後、移行期間を設けたのち『現行の端末』を撤去した場合、設置工事と撤去工事が別々となり、工事費用が高くなるのに加え、撤去工事が 国補助の対象外となるため、更新費用6.7億円より高額となる。

※2 『現行の端末』と『マルチ端末』で、くま蒙のICカードを読み込める状況であるため、決済をどちらかの端末に寄せる場合、更新費用はその分下がる。ただし、更新費用の大部分は端末費用が占めているため、大幅に費用が下がることはない。